

高崎市教育センター 教育支援センター 「アクティブ並榎教室」



- 開設 平成5年4月1日
□代表者職氏名 教育センター 所長 清水 さとみ
□所在地 〒370-0802 高崎市並榎町123番地
高崎市勤労青少年ホーム内
□電話／FAX (027)323-6088

1 運営の目的

登校できずに悩んでいる児童生徒に、仲間との
触れ合いの機会を設けて、様々な体験活動や学習
の補充などを通して、自立心や社会性、集団への
適応力等を養い、社会的自立に向けて指導・援助
を行う。

2 令和4年度職員の構成・分担

職員	人数	業務内容
教育センター	所長	1 運営総括
	次長	1 運営補佐
	担当指導主事	2 指導全般
	所員	2 指導全般
	庶務	1 庶務全般
教室	指導員	4 通室生の指導及び相談

(3) 日時程

時間	主な活動内容
9:00～	通室
9:15～	教科学習、創作活動、 読書、運動等
12:00	
12:00～	昼食・自由時間
13:00	教科学習、創作活動、 読書、運動等
14:45	
14:45～	清掃・1日の反省
15:00	退室

(4) 主な行事予定 (令和4年度)

3 入室対象及び受入状況

(1) 入室対象

高崎市の小・中学校に在籍する不登校または不登校傾向の児童生徒で、本人及び保護者が入室を希望し、通室が適切であると認められた者。

(2) 受入状況(令和3年度)

小学生11名 中学生24名 計35名

※8教室合同行事

10月	ものづくり体験学習 (たくみの里)
11月	社会科体験学習 (富岡製糸場・県立自然史博物館)
1月	プラネタリウム学習 (高崎市少年科学館)

4 令和4年度開設状況

(1) 開設日時

学校の休業日を除く月曜日～金曜日

9:00～15:00

(2) 開設期間

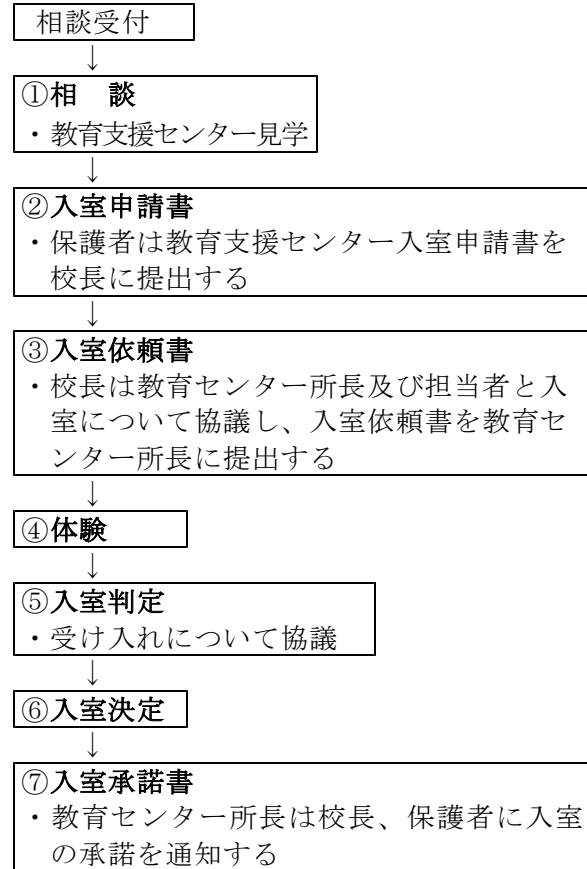
4月7日～3月13日(中3)

23日(小6)

24日(その他の学年)

5 入室・退室の進め方

(1) 入室の手続き



(2) 退室の手続き

- 完全復帰が十分に確認された時点で、室長の判断をもって退室とする。

6 学校・家庭及び関係機関との連携

(1) 学校との連携

- 通室している児童生徒の担任、在籍校の相談員・スクールカウンセラー、管理職などと学期に1回の定期情報交換を行う。また、必要に応じて随時行う。
- 必要に応じて指導員が学校を訪問し、児童生徒の様子を伝え、今後の対応の仕方を話し合う。
- 通室の状況が安定し、かつ情緒面の安定が感じられる児童生徒に対しては登校支援を行う。その際には、本人の意思を尊重し、個々の状況に応じて段階的に進めていく。

(2) 家庭との連携

- 指導員とボランティア相談員は、保護者との面談を積極的に行い、支援していく。

(3) 関係諸機関との連携

- それぞれのケースに応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童相談所、専門医療機関等との連携を図る。

7 特色のある活動

不登校児童生徒が、自然に親しむ活動や人と関わり交流する活動を通して、自主性や集団適応力等を高めることが、社会的自立に向けた支援につながると考え、8教室合同行事を実施している。

令和3年度に予定した8教室合同行事の概要は以下のとおりである。

- ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み令和3年度は中止した。

○ものづくり体験学習

期日 令和3年10月15日（金）

場所 たくみの里

内容 仲間と交流しながら創造的な活動を楽しむ経験により、社会性の向上を図る。

○社会科体験学習

期日 令和3年11月17日（水）

場所 富岡製糸場

群馬県立自然史博物館

内容 見学を通して人と関わり合う楽しさや喜びを味わう。また、文化遺産や自然科学の大切さについて考えるとともに働くことの意義を考えるきっかけとする。

○プラネタリウム学習・科学工作

期日 令和4年1月26日（水）

場所 高崎市少年科学館

内容 天体学習や科学工作を通し、通室生の科学的探究心の向上や未来への希望を育む。

令和3年度に新規に教室別の行事として、以下の体験活動を実施した。

○群馬県立自然史博物館出前授業

「化石レプリカづくり」

期日 令和3年11月26日（金）

場所 アクティブ並榎教室

内容 化石のレプリカづくりを通して、自然科学への知見を深める。

○群馬県立歴史博物館出前授業

「浮世絵多色刷り」

期日 令和4年2月3日（木）

場所 アクティブ並榎教室

内容 浮世絵の版画体験を通して、歴史的な美術作品に触れる機会とする。